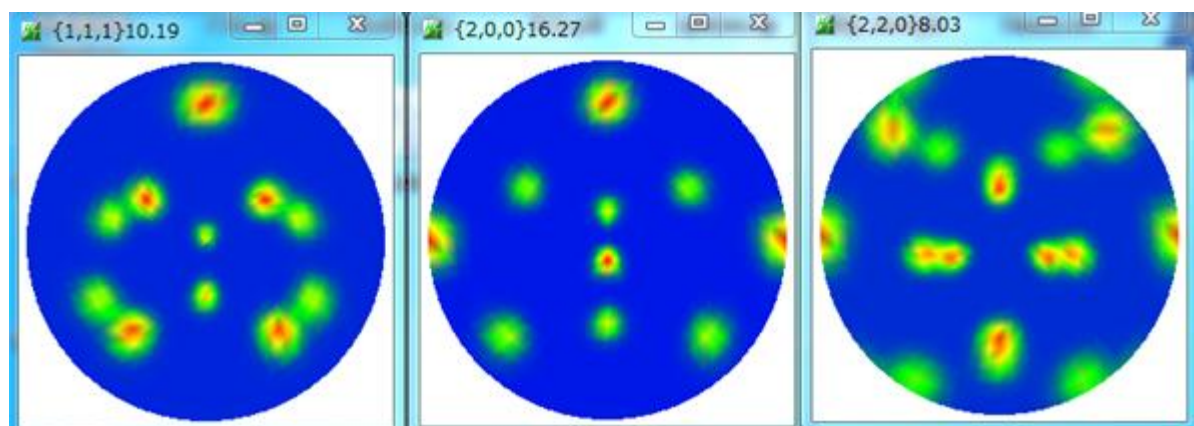


極点図の対称操作に関して

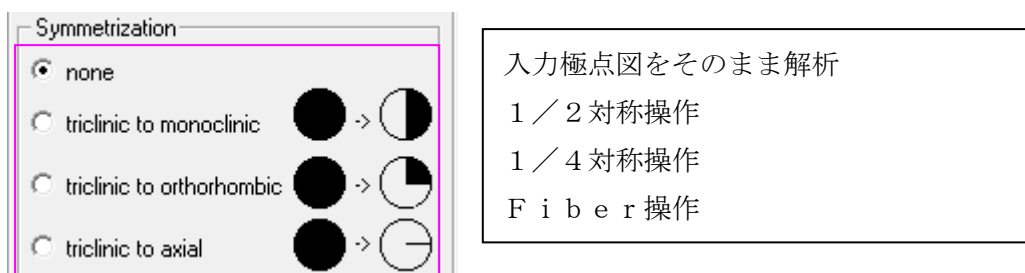


2015年11月09日

HelperTex Office

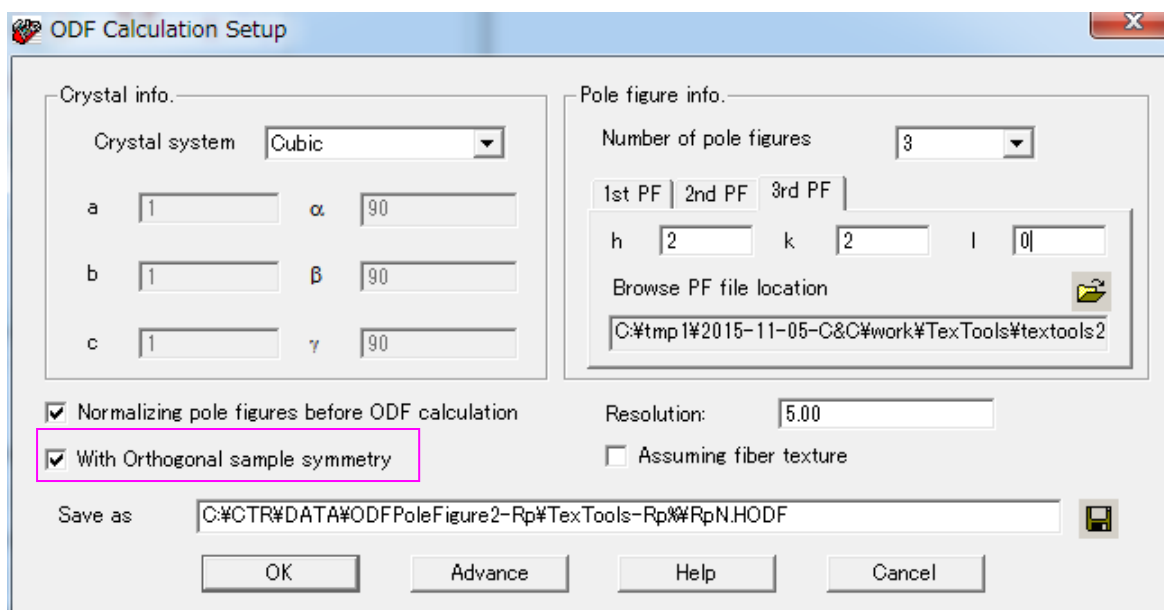
概要

ODF解析する場合、入力極点図に対して、必要なら対称操作を行うことがあります。
例えば、L a b o T e x の場合、



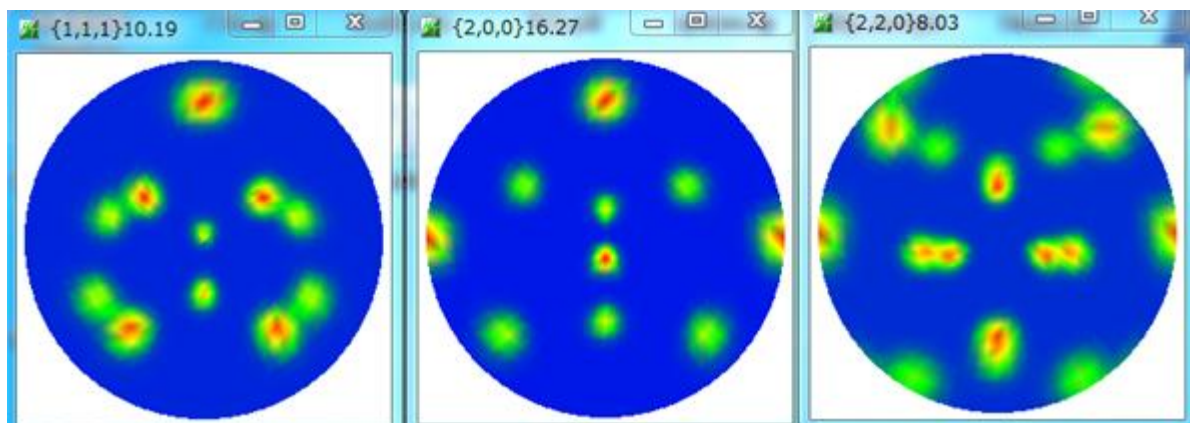
の様な対称操作が考えられます。

T e x T o o l s の場合



F u l l , 1 / 4 , F i b e r 対称操作がサポートされています。

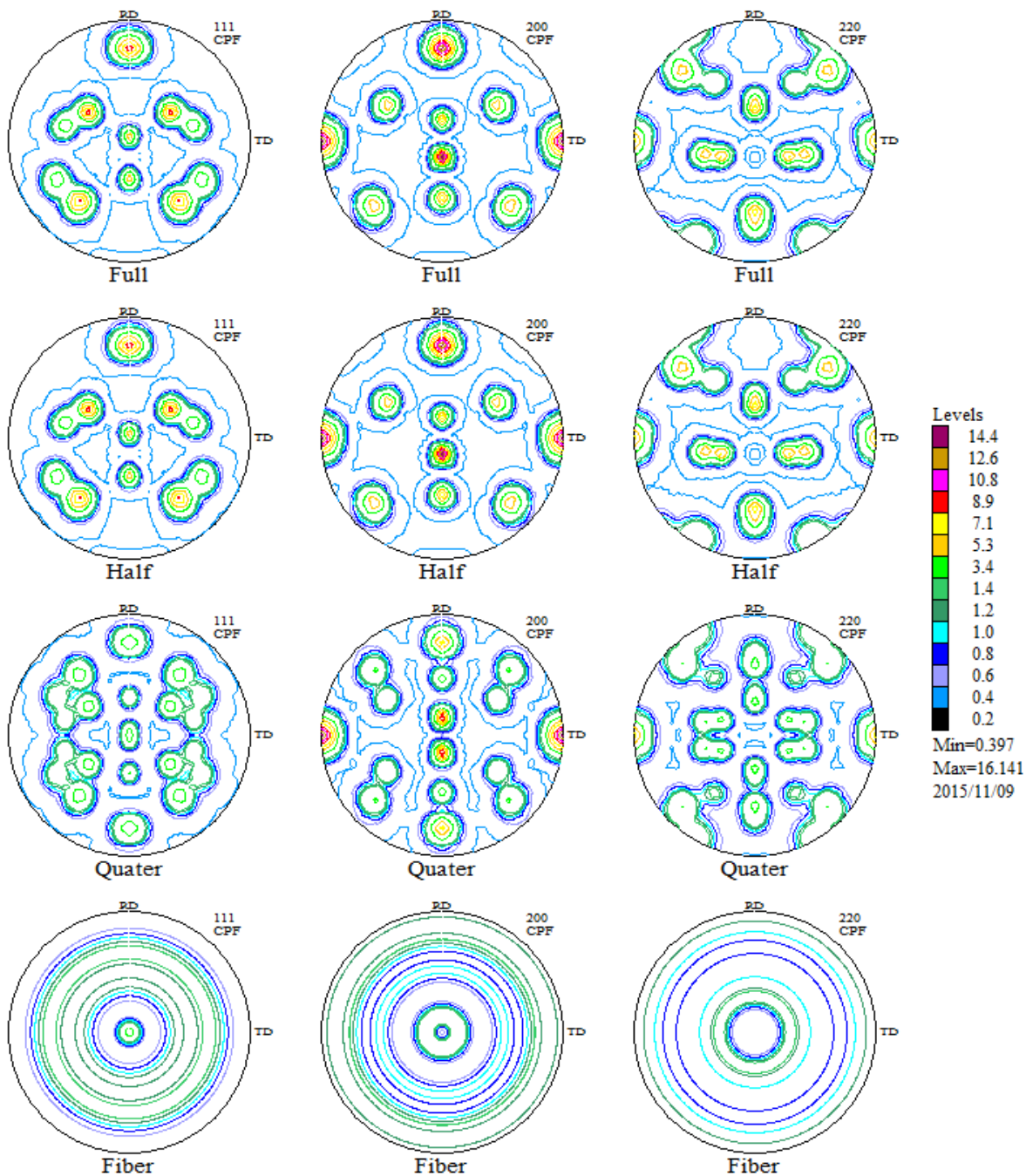
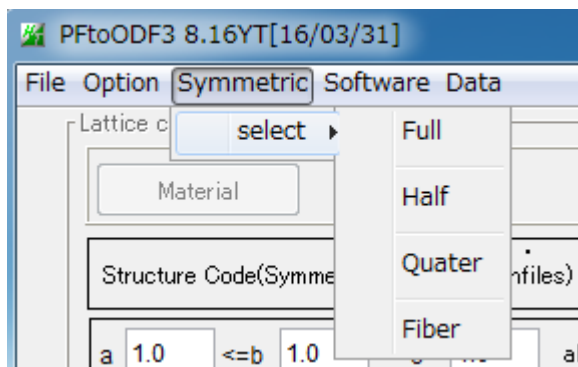
しかし、L a b o T e x の 1 / 2 対称操作は、極点図の中心に対する点対称で、通常見られる R D 軸に対するミラー対称がサポートされていません。



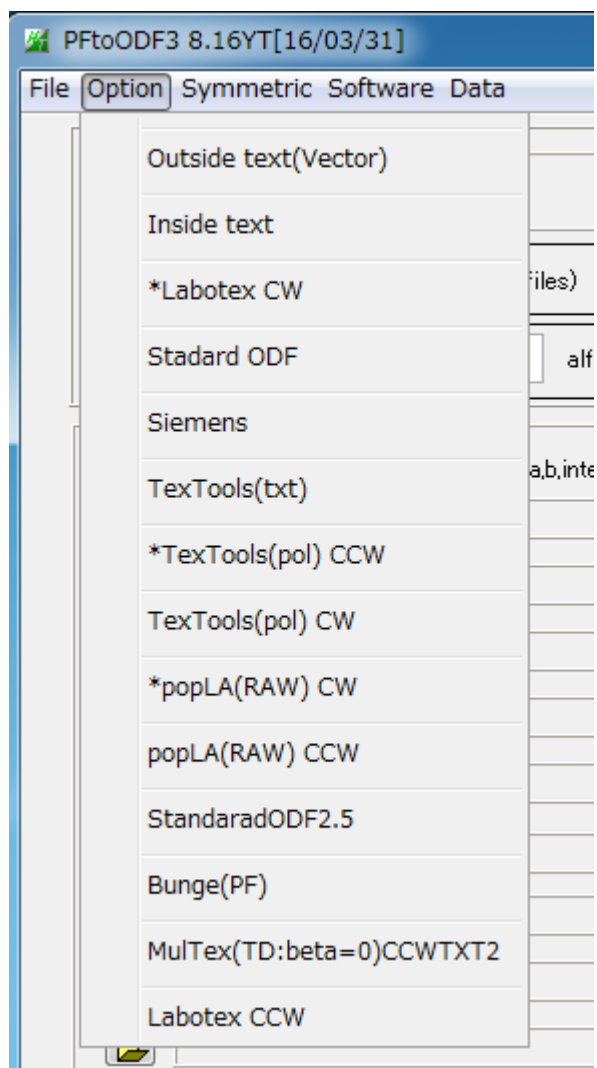
そこで、P F t o O D F ソフトウェアでは、

F u l l , 1 / 2 , 1 / 4 , F i b e r 対称操作による平均化をサポートしました。

P F t o O D F 3 の対称操作



対応ODFソフトウェア

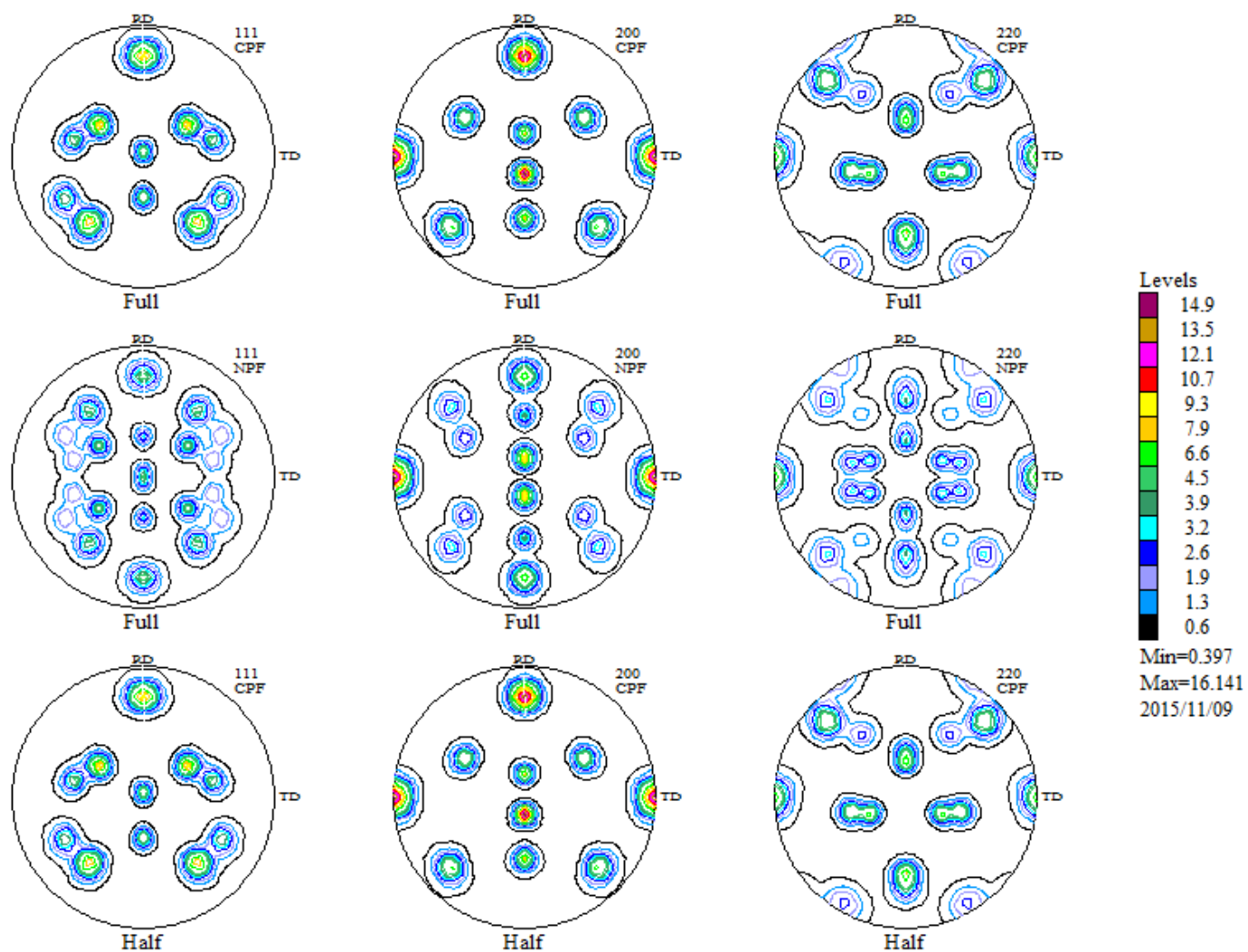


S y m m e t r i c 操作が可能なソフトウェアは L a b o T e x t o T e x T o o l s で他のソフトウェアでは、S y m m e t r i c 操作しても作成されるデータは、F u l l データのまま、平均化されていません。

S t a n d a r d O D F では、ODF 内部で、 $1/4$ 平均処理がされています。

LaboTexによるTriclinic→Monoclinic

上段は、入力データ、中段は、RD軸に対し中心点対称、下段はPFtoODFによるHalf操作



LaboTexの1/2操作はPFtoODFの1/2操作と異なります。